



施工説明書

# スマートリモコン

シャワートイレ用

## 必ず確認してください！

### ■リモコン信号を確実に受信するために

リモコンはできる限り、リモコン受光部側の壁に取り付けてください。

必要上、反対側の壁に取り付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。

また、リモコン受光部側の壁が洗面台などで便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から1300mm以内に信号反射用のスクリーンを設置してください。

スクリーンの寸法は高さ(H)1100mm以上、幅はリモコン受光部からリモコン設置位置まで(W)を確保してください。

- ※ リモコンの受信は、壁の仕上げ・色などの条件により多少異なりますのでご注意ください。特に、黒っぽい壁ではリモコン信号の受信条件が悪くなります。
- ※ インバーター照明下でリモコンを使用した場合、トイレの環境条件によりシャワートイレが作動しないことがありますのでご注意ください。

### ■リモコン取付位置

リモコンは操作できる範囲内に取り付けてください。

右図の取付範囲内で、便座に座った状態で操作しやすい場所に取り付けてください。

### ■必ず便座に座って確認してください。

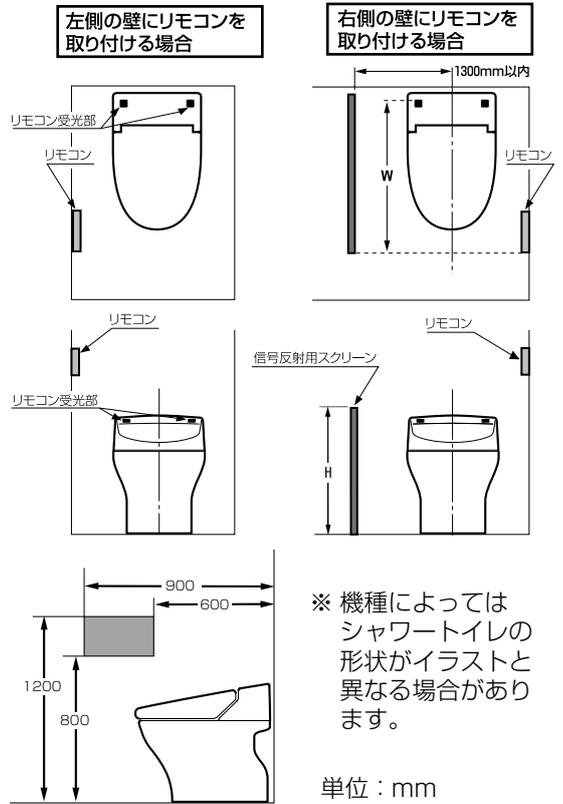
リモコンを取り付けようとする位置に仮置き、実際に便座に座って止スイッチを押します(施工完了後の試運転も必ず行ってください)。

その後、便器前に立ち止スイッチを押して、本体から「ピー」という音が出る、または本体表示部の電源ランプが1回点滅する(受信正常)ことを確認します。

※ もし、シャワートイレ本体がリモコン信号を受信しない場合、障害物を確定し、その障害物を移動させるか、または移動が不可能であれば、リモコンの取付位置を移動させます。

● おしりやビデのスイッチを押すと水が噴出しますので注意してください。

● リモコン取付位置の上方にリモコンを脱着する際に必要なスペースが十分あることを確認してください。(注意 2 参照)



## 併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために

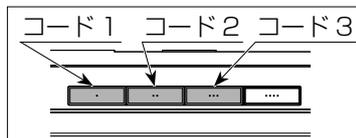
シャワートイレを併設する場合は、他ブースのシャワートイレも反応し誤作動を起こす恐れがあります。このような場合は、お買い上げのリモコンを使い信号変更ができます。リモコンの発信信号とシャワートイレ本体の受信信号を共に変更してください。

### 1. リモコンの発信信号の変更

- (1) リモコンの電池をいったん外します。
- (2) 右図の信号表に応じたボタンを押しながら、電池を取り付けそのまま6秒保持します。
- (3) 発信信号が変更された時、リモコン本体の電池ランプが点滅します。  
(変更された信号により、点滅回数は異なります。)

※お買い上げ時、「信号0」となっています。

※機種によっては、☆印付の信号に変更できません。(操作ボタンがないため)



信号番号	操作ボタン	電池ランプ点滅回数
信号0	ノズルそうじ または コード1	4回点滅
信号1	温水温度	1回点滅
信号2	便座温度	2回点滅
信号3	節電入/切	3回点滅
信号4	時	5回点滅
信号5	分	6回点滅
信号6 ☆	自動洗浄 または コード2	7回点滅
信号7 ☆	乾燥温度 または コード3	8回点滅

### 2. 本体の受信信号の変更

- (1) 変更する機器の電源プラグをいったん抜きます。
- (2) 再度、電源プラグを差し込んでから、10秒以内に「止」ボタンを10回以上連続で押します。

### 注意

上記作業は、屋内(設備)のブレーカーで電源の入/切を行わないでください。

※同時に複数機の電源を入れると、他機の受信信号も変更される恐れがあります。

## 快適機能の設定はしないでください！

### ■快適機能の設定はお客さまにおまかせください。

シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みに設定する必要があります。したがってできる限り、お客さまで設定するようお願いいたします。もし、施工業者さまで設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。

特に**節電機能**は、お客さまが意識していないと、便座が冷たく感じる場合があります。

### 快適機能とは

シャワートイレを快適に使用していただくためのお客さまのための機能です。代表的な快適機能には、

- 便座・温水の温度
- 脱臭機能
- 節電機能
- 温風始動温度切替え
- 便座ヒーターオート OFF

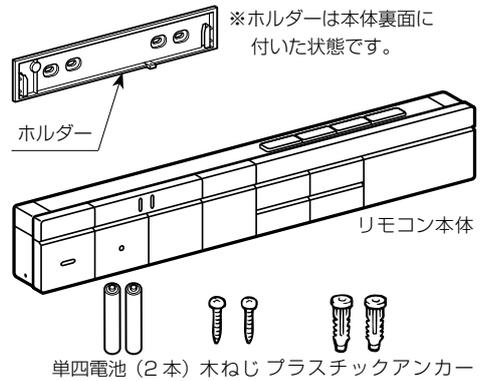
などがあります。

※ 試運転確認後、必ずお買い上げ時の設定に戻してください。

(【温水温度】と【便座温度】を同じタイミングで2秒以上押す)

※ 機種によっては、一部機能がない場合があります。

## 部品の確認 (梱包内容を確認してください。)



※ 機種によってはリモコンの形状がイラストと異なる場合があります。

## 施工方法

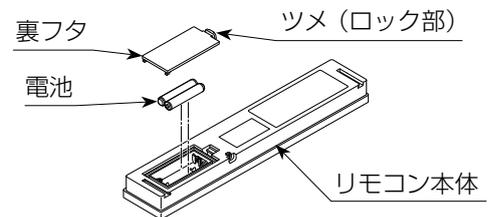
### 1 電池の装着・リモコン取付位置の確認

(1) リモコンの裏フタを開け、付属の電池 (単四形2本) を入れます。

※ 裏フタが開けにくい場合、マイナスドライバーなどの工具でツメ (ロック部) を押さえて外してください。

(2) リモコンの取付位置を確認します。(前ページ参照)

注意 1 参照



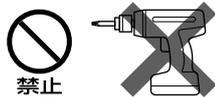
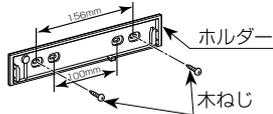
### 2 リモコンの取付け

(1) ホルダーをリモコン本体から外します。

(2) ホルダーを壁の材質に合わせた施工方法で、取付位置に取り付けます。

注意 2・3 参照

※ 取付穴が4つある場合は、外側2つの取付穴 (Aのマーク) を使います。ただしネジ穴100mmピッチでしか固定できない壁の場合は、内側の取付穴2つを使ってください。

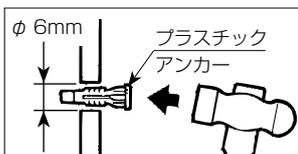


#### ●厚みが5mm以上の合板壁の場合

ホルダーを付属の木ねじでしっかりと固定します。

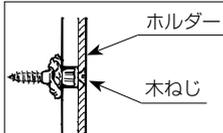
#### ●厚みが5mm以下の合板壁および石膏ボード壁の場合

① 直径6mmの下穴をあけます。(石膏ボードは5mm)



② ハンマーなどを使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。

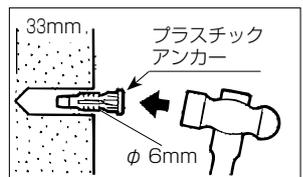
③ ホルダーを木ねじでしっかりと固定します。



締め付けていくとはじめは強く、いったんゆるくなって再び強くなります。

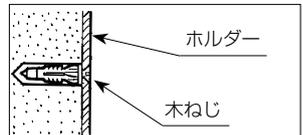
#### ●コンクリートの場合

① 直径6mm、深さ約33mmの下穴をあけます。

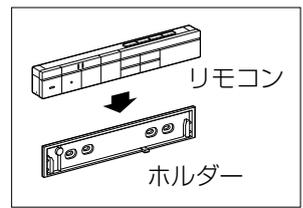


② ハンマーなどを使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。

③ ホルダーを木ねじでしっかりと固定します。

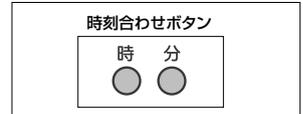


(3) リモコンをホルダーの上に合わせて、下へ押し下げてリモコンを取り付けます。



(4) 【時】と【分】を押して時刻を合わせます。

※ AM (午前)、PM (午後) に注意してください。



#### 注意 1

- 電池のプラスとマイナスの向きを間違いないように入れてください。
- 電池は、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。
- 同梱の電池を使用してください。

#### 注意 2

リモコン取付位置の上方に、リモコンを脱着する際に必要なスペース (下図参照) が十分あることを確認してください。



#### 注意 3

電動工具は使用しないでください。  
※ 部品が破損する恐れがあります。

#### 注意 4

リモコン正面スイッチは、リモコン本体をホルダーに取り付けた状態でなければ操作できません。

## 試運転

着座センサーまたは着座スイッチをおしり

チを ON にします。

【おしり】を押してシャワーが出ることを確認します。

(シャワートイレ本体の施工説明書「試運転」参照)

※ 【おしり】は、リモコン本体をホルダーに取り付けた状態でなければ、操作できません。

注意 4 参照